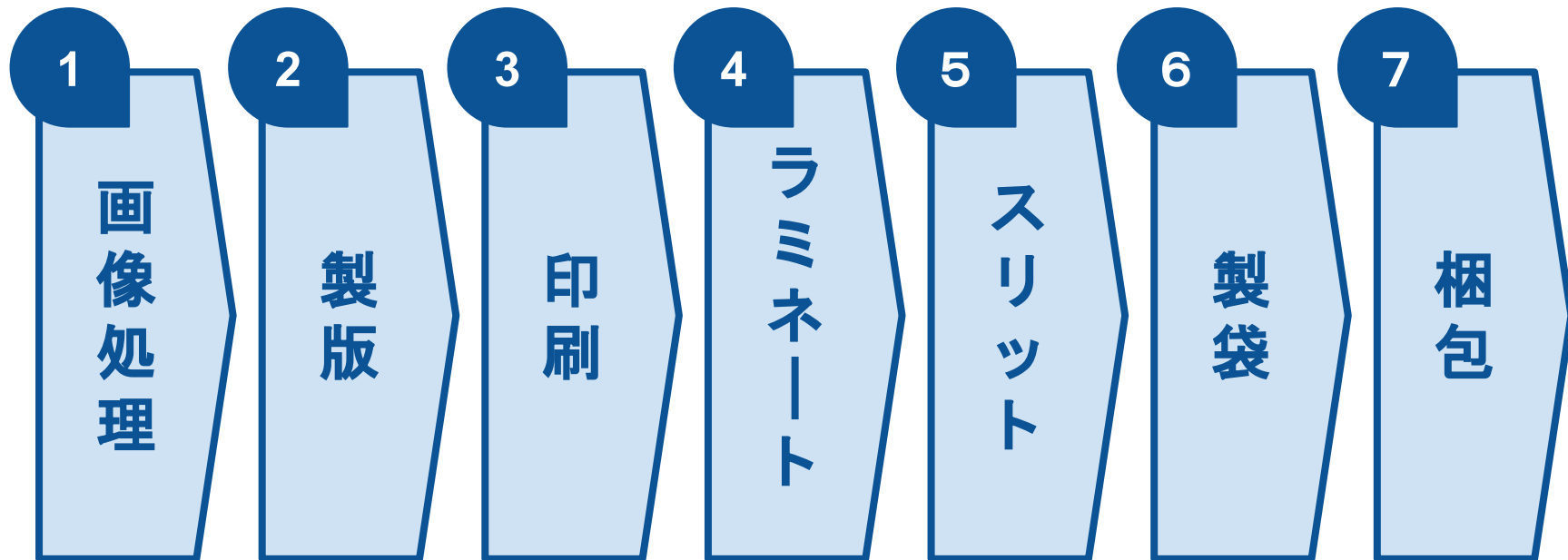


商品ができるまで



1

画像処理

お客様や営業との打合せを元に、写真、デザイン、表示作成等のデータ処理を行ないます。お客様との打ち合わせを重ね、校了になりましたら版の作成に移ります



2

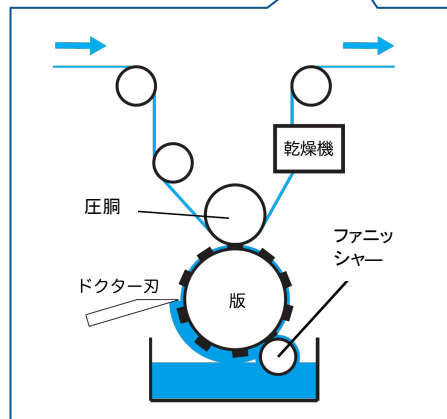
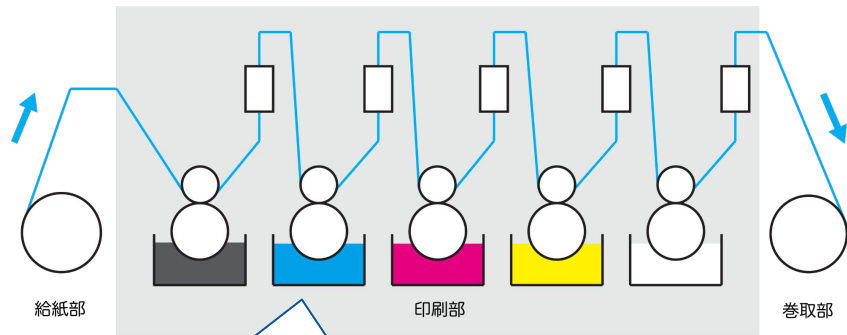
製版

グラビア印刷用の版は、シリンダーと呼ばれる金属製のロールが元になります。鉄又はアルミ製のロール表面に銅メッキを処理し、データに合わせた小さな孔を彫り込み、その上からクロムメッキを施し構成されています。グラビア印刷は1色につき1本の版を使用し、色数により使用する版の本数が変わります。5色印刷は5本の版を使用します。



印刷

グラビア印刷は微細な濃淡の表現に長けており、特に写真画像の再現に適した印刷方式になります。高精度な再現性を活かし、食品などの包装フィルムへの印刷に用いられています。

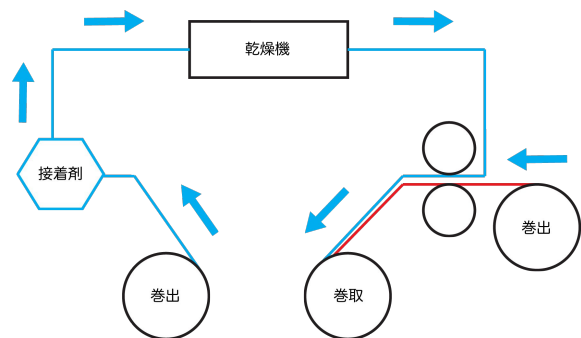


【印刷ユニット部】

1. **ファニッシャー** と呼ばれるゴムロールにインクを付け、版に押し付ける事で版全体にインクが乗ります。
2. 版全体に付いたインクを **ドクター刃** と呼ばれる薄い板によって、絵柄以外の平滑な部分のインクは掻き落とされ、版に彫られた孔にインクが残ります。
3. **圧胴** と呼ばれるゴムロールで版にフィルムを押し付ける事で、孔に残ったインクがフィルムに転移し、絵柄が写し出されます。
4. フィルムに転移したインクは乾燥機で温風により乾燥され、色数に応じて、次のユニットで他の色を転移させる事を繰り返し、複数色の印刷を構成します。

ラミネート

ラミネート工程では印刷したフィルムに多様な性質を持ったフィルムを貼り合わせます。これにより包材の強度を向上させると同時にお客様のご要望や内容物に応じて、遮光性を持つフィルムや湿気及び酸素バリア効果を持つフィルムを貼り合わせる事で、食品の長期保存を可能とします。



【ドライラミネートとは】

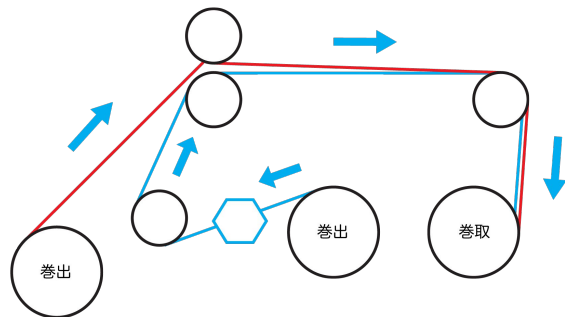
接着剤を溶剤で希釈し印刷フィルムに転移させます。乾燥ゾーンで溶剤だけを乾燥させた後、機能性を持った第二基材のフィルムを貼り合わせます。

※溶剤は貼り合わせ前に乾燥させるのになぜ必要か。

溶剤の用途は粘性を低くし加工しやすくするためです。溶剤希釈していない接着剤は非常に粘性が高く、転移不良などの原因となる為、加工に適していません。

【特長】

接着剤の反応速度が早く、エージング時間の短縮化を図る事が可能です。短納期対応向き。



【ノン溶剤ラミネートとは】

接着剤を温度調整可能なロールで液温を高くし粘性を下げフィルムに転移させます。溶剤は使用せず、温度変化により粘性をコントロールします。溶剤を使用しない為、乾燥ゾーンを必要とせず第二基材のフィルムを貼り合わせます。

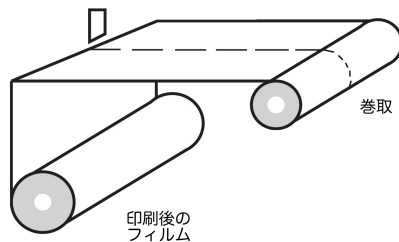
【特長】

溶剤を使用しない為、臭気の問題が少なく環境にも配慮される。

5

スリット

スリットとは、フィルムシートを希望に応じて必要なサイズ幅にカットし、ロール状に巻き取っていく工程です。



6

製袋

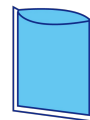
製袋(せいたい)加工とは、スリット後のフィルムを、使用に即して様々な袋状に加工することです。



合掌袋



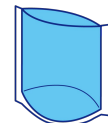
ガゼット袋



三方袋



チャック袋



スタンドパック

7

梱包

スリットした巻取の外観確認やコロがけをおこない、OPPフィルムなどで梱包し、製品ラベルを貼付して仕上げます。

